



なないろ生徒会新聞

三田市立上野台中学校
2019. 10. 4(金)

新聞に掲載されました

ひらひら 日本縦断中 三田にアサギマダラ

春と秋に日本を縦断するチョウ「アサギマダラ」が、今年も三田市立上野台中(志手原)に飛んできた。生徒たちが2015年から、アサギマダラが好む多年草のフジバカマを栽培。5年連続で飛来を確認した。同中によると、9月24日午後3時頃、フジバカマの花が咲く花壇近くにある扉から、1匹が保健室に入り込んだという。養護教諭がつかまえ、生徒会長の3年坪之内涼心さん(14)が、羽

に飛来した日付と「UENO DAI」の文字を油性サインペンで書いた後、空に放した。坪之内さんは

「チョウに触れて、今年も来てくれたんだと実感できた。2匹、3匹と飛んできてほしい」と話していた。同中では、30日にも2匹が姿を見せたという。



三田市立上野台中に今年も飛来したアサギマダラ(9月24日、同中提供)

アサギマダラが飛来したニュースを2つの新聞社から取材を受けました！今年は例年より多くアサギマダラの姿が確認できています^^「今朝、家の近くを飛んでいました！」なんて声もちらほら。上中にも連日飛来中！フジバカマの近くを通るときは、探してみてください♪

10月1日(火) 読売新聞

上野台中にアサギマダラ 今年も フジバカマで羽休め

生徒ら、地域と中継地づくり



◎挿し芽してフジバカマを増やす生徒=2019年5月(上野台中学校提供) ◎マーキング後に放されたアサギマダラ=上野台中学校

長距離の季節移動をするチョウ「アサギマダラ」がこのほど、上野台中学校(三田市志手原)に飛んできた。同校では生徒会を中心に4年前から好物のフジバカマを育てて羽を休めるための中継地にしており、株分けを通じて市内外の小中学校との交流を深めている。今年も同校へ2回も飛来し、10月中旬ごろまで期待できるといふ。

アサギマダラは春に南西諸島や台湾方面から日本列島を北上し、秋に南下する。三田には毎年この時期にやってくる。同校は2015年度からフジバカマを育てアサギマダラを呼び込む「虹プロジェクト」を始めた。同校

生徒会長で3年の三田一輝さん(15)は「フジバカマの手入れを念入りにしたので、今年も来てくれたらいい。目的の地まで元気に飛んでいってほしい」と笑顔を見せた。同校はマーキングしたアサギマダラを見つけた場合は連絡を求めている。同校☎079・563・0234

の取り組みをしていた京都府の舞鶴市立城北中学校から株を譲り受けて挿し木で増やした。翌年から校区内にある志手原、高野、小野、母子の4小学校のほか、けやき台、ゆりのき台の2中学校や地域の夏祭りでも株を配って広めている。上野台中では先月24、30日に計3匹を教員が捕獲。飛行ルートを追えるように日付や捕獲場所、学校名を羽に書き込んで生徒が放した。30日は生徒らが窓から顔を出し、大空に再び飛び立つ2匹の姿を見守った。



10月3日(木)
神戸新聞

～舞鶴市立城北中学校との交流～

上中にあるフジバカマの苗を最初に分けていただいた城北中学校。9月28日(土)に舞鶴市で行われた“ふじばかまつり”では、たくさんのアサギマダラに出会うことができました。城北中学校区にある旧青井小のグラウンドには600本のフジバカマが背丈の高さほど育っており驚きました。おまつりでは、アサギマダラの観察だけでなく、地域の方と生徒ボランティアでフジバカマの匂い袋作りなどが行われていました。乾燥させたフジバカマからは、とっても良い香りがしました！

